

「生命を尊重し、夢や希望を育む」・ 「自己有用感を高める」道德教育の充実

生きる力を育む道德教育をみんなで実践

岐阜県道德教育振興会議 会長 長村 寛

各学校で道德教育を充実させましょう。

道德教育で育まれる道德性、特に、物事の本質を考える力、何事にも主体性をもって誠実に向き合う態度、豊かな情操などは、「豊かな心」だけではなく「確かな学力」や「健やかな体」の基盤となり、「生きる力」を育むためにとても重要なものです。

コロナ禍を経て、様々な活動が行えるようになった今こそ、各学校が「道德科」を要とした道德教育を充実させることが求められています。子どもたちが学校生活の中で、共に学び、共に活動することを通して、豊かな心をもち、明るく元気に、たくましく成長していくことが期待されます。

「1家庭1ボランティア運動」を道德教育の実践の場として生かしましょう。

学校で取り組む道德教育をより充実させるためには、家庭や地域との連携が大切です。そのために、岐阜県道德教育振興会議が県民運動として取り組んでいる「1家庭1ボランティア運動」を、子どもたちの実践の場として位置付けていただけるとよいと思います。

本年度も、多くの学校、家庭、地域の方々に御協力いただきました。家庭や地域の方と一緒に活動した子どもの喜びの声、子どもを頼もしく感じた保護者の声など、多くの感想が寄せられています。

自己有用感を高める道德教育を、県内の各学校でも取り組みましょう。

岐阜県道德教育振興会議の実践協力校である下呂市立下呂小学校、県立岐阜城北高等学校では、指導方法を工夫した道德教育に関する取組、家庭や地域活動を充実させるための取組等が行われ、その成果を発表していただきました。

本啓発資料の取組事例を参考にして、各学校で子どもたち一人一人に自己有用感を高める取組を一層充実させましょう。

自他の生命を尊重し、よりよい生き方を追求する児童の育成

下呂小学校では、道徳的価値について仲間と「訊き合う」（議論する）授業を要としながら、保護者や地域との連携を強化し、子どもたちが多様な感じ方や考え方に接する場面や機会を効果的に設定し実践を重ねています。そして、よりよい生き方をしようと自己の生き方について考える児童の育成を目指して取り組んでいます。

（１）道徳授業の充実を図り、よりよい生き方を追求する児童の育成



「訊き合う」道徳の授業



校内研究授業の実施



考えが広がり深まる授業の創造

（２）児童の主体性を大切にした体験活動の推進



自分宛の「アイ」のメッセージ



児童会によるチャレンジライブ



草取りボランティア



全校道徳



全校フォークダンス



異学年との掃除

（３）保護者・地域との連携・協働による県民運動等の実践



1 家庭 1 ボランティア運動



地域と連携した「いのちの授業」



地域人材・行政関係者等を活用した授業

他者と自己を尊重し、社会的責任感を高める道徳教育の推進

1 本校の現状

岐阜城北高校では「確かな学力、豊かな人間性、健やかな心身を育み、一人一人の個性を伸ばし、社会の変化に柔軟に対応し、社会に貢献できる人材を育成する」という教育目標の下、日々の学習や様々な活動に取り組んでいます。また、学校外の幅広い年齢・職業の方々との交流も盛んで、貴重な教育の機会となっています。

しかし、コミュニケーション力の不足や自己肯定感の低さ、相手を本当に思いやる気持ちが少なく、ふざけて仲間を「いじる」ことに抵抗を感じていない場面が見受けられました。そのため、他者はもちろん自己の人権についても理解を深め、常に社会的に責任感のある正しい行動を取るにはどうすべきかを研究し実践することにしました。



2 研究内容

(1) 校内での行事と活動

- ①紫翠祭（文化祭）……………クラスや部活動の仲間と協力した企画を発表
- ②球技大会……………クラス一丸となったバレーボール大会
- ③命を守る訓練……………お互いの安全を確認しながら待機・避難
- ④卒業発表会……………総合学科・生活デザイン科が後輩に向けて学習成果を発表
- ⑤部活動……………各種大会に向けて仲間とともに積極的に活動
- ⑥出前授業……………大学や専門学校から講師を招いた学習

(2) 地域社会における活動

- ①老人ホームとの交流……………老人ホームを訪問し入所者や施設の方々と交流
- ②保育園との交流……………保育園を訪問し園児とふれあい、先生方と交流
- ③岐阜城北わいわい広場inマーサ21

物品販売や日頃学んでいることを生かした体験コーナーの実施

- ④岐阜城北Co-Market……………物品販売や体験コーナー、少年野球教室・模擬保育園を開設し、来校者と交流

(3) 「ひびきあいの日」における活動

1年生は「価値観の違いを知ろう」、2年生は「平和とは何かを考えよう」、3年生は「一人の人間として生きることを考えよう」を統一テーマとして公開LHRを実施しました。クラスそれぞれの切り口で発達の段階に合わせた道徳の指導を実施しました。



3 成果と課題

岐阜城北Co-Market（コマーケット）において物品販売の店舗責任者を担当した総合学科ビジネス系列3年生のAMさんは、Co-Marketを通じて成長できたこととして、「人との関わり方が変わりました。私は誰とでも気軽に話せる性格ですが、代表者としてメンバーに仕事を指示するときに、指示するタイミングやどんな口調で話したら『頑張ってみよう』と思ってもらえるかを考えて話すようになったことや、仕事を平等に割り振る大切さが分かりました。」と答えてくれました。以上のように、学校内外での様々な取組を通して社会的責任感を高める場面を設けていますが、生徒の様子を見るとまだまだ不十分であると感じています。今後も指導を続けて生徒たちの意識の変化を促したいと考えています。

県民運動として展開してきた「1 家庭 1 ボランティア運動」。家庭・地域ぐるみでボランティア活動に取り組み、子どもたちに豊かな心を育んでいる実践が、県内各地から多く寄せられています。

誰かのために何かができる 1 家庭 1 ボランティア



「1 家庭 1 ボランティア運動」って？

「1 家庭 1 ボランティア運動」は、豊かな心と行動に満ちあふれた県民風土をつくることを願って進めている県民運動です。

- 家族と一緒にごみ拾い
- 友だちと協力して地域行事の準備
- 学校でのあいさつ活動や花づくり
- 地域の方と協力して地域の清掃活動 など



自分から進んで取り組み、声をかけ合い、応え合い、
「ありがとう」の気持ちを伝え合いましょう！

ボランティア運動中の
「ありがとう」の言葉に対する喜びが
「明日もがんばろう！」という希望につながります。

夢・希望



自信



ボランティア運動を通して得られる
「自分にはよいところがある」という実感が、
自信の高まりにつながります。

ボランティア運動での
人と人とのあたたかいつながりが、
自分も相手も大切にしようとする心を育みます。

命

